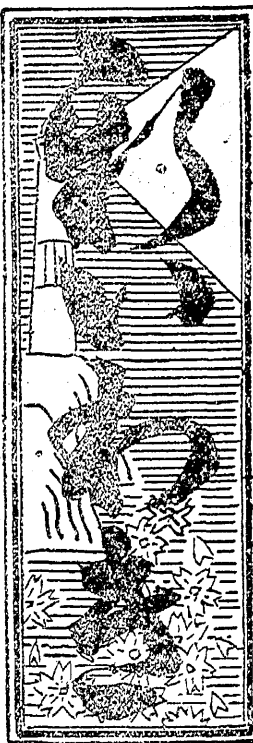


【刊夕日一十二月一】



日曜大祭日
一月十五日
二月十五日
三月十五日
四月十五日
五月十五日
六月十五日
七月十五日
八月十五日
九月十五日
十月十五日
十一月十五日
十二月十五日

今年の養蠶家は

量よりも質の心掛

粗品多産では到底支那蚕 人造絹糸に叶ふ處でない

石城地方の農村は昨年、繭の繭糸の繭糸は生産家
價暴落におびへて本年の春の原料仕入目標に徹し従来
繭に非常の懸念を抱いておの様な多産種よりも良繭
が製糸家側では既に其の義なることが肝要である
と云はれてゐる

計画を

神谷村の 俵米品質評

農會の主催で

夫れは来る二月から愈々賣
施される横濱生糸市場の第
三者格付検査にもたゞされ
る影響を懸念してのものら
しく従来生糸の格付なるも
の各生糸

會社に

てゐた種々なる弊害に鑑み
輸出生糸の品質を期す
んとする此の検査實施が確
然たる標準を測ると共に
往年の如く生糸なるものは
飛ぶ様に賣れて而かも

高價で

としての粗品多産では廉價
な支那蠶糸及び人造絹糸を凌
駕するには純然たる本邦大
蠶糸の他に優秀なる特質を
以て對應することが此の
に於ける最善の策となし

本年は

生産に向ふものと見られて

學務委員の 協議會

平町の學務委員會は来る二
十三日午後一時から町會館
室に於て催されるが協議は
昭和六年年度の教育豫算に就
てである

街頭實話

ナンセンス (四)

ある天氣の好い日曜のこ
と常盤銀行の角を通つた
ら九つか十位の緑のある
洋服を着た小娘に〇〇寫
眞館は何處かと尋ねられ
た、已れも田町の方に
くのだから一所に連れて
あげようと言ふたら、父
親に對する如き親しさに
て後からついて来た、小
娘の話によつて赤沼の者
だが、幾日前からの約束
が今日漸く實現されて居
親と一所に〇〇寫眞館で
寫眞を撮る爲めに午に來
たのだが、別々の自動車
に乗つてしまつたのだと
わかつた。自分の小さか
つた時の記憶から昨夜の
土曜の晩はこの小娘の小
さな夢は自動車の中の
町だの寫眞館だの一杯
であつたのだらうと思像
し乍ら、五、六錢銀貨を
枚裏へて〇〇寫眞館に送
りつけた歸り途〇〇寫
眞館に立ち寄つて、さつ
きの小娘が如何したらう

招集

平の初町會

既報平町の初町會は来る二
十四日午後一時開會に決し
た、已れも田町の方に
くのだから一所に連れて
あげようと言ふたら、父
親に對する如き親しさに
て後からついて来た、小
娘の話によつて赤沼の者
だが、幾日前からの約束
が今日漸く實現されて居
親と一所に〇〇寫眞館で
寫眞を撮る爲めに午に來
たのだが、別々の自動車
に乗つてしまつたのだと
わかつた。自分の小さか
つた時の記憶から昨夜の
土曜の晩はこの小娘の小
さな夢は自動車の中の
町だの寫眞館だの一杯
であつたのだらうと思像
し乍ら、五、六錢銀貨を
枚裏へて〇〇寫眞館に送
りつけた歸り途〇〇寫
眞館に立ち寄つて、さつ
きの小娘が如何したらう

警察署を 呑む男

盗んだ酒を飲 んで捕へらる

平町宇田町中食堂へ最近
雇はれたばかりの出前持
村部飯豐村の八木立生れ密
盗前二犯今泉正藏(三〇)は
王家の酒一升を盗んで
逃走した、十五、平署に檢
内容を観ると政治上法律

昨夜の烈風と磯原町 廿六戸焼失の大火

火元は炭礦専用線踏切小屋 死傷者はないが損害三萬圓

石城郡地方と密接の關係あつても
茨城縣多賀郡磯原町に廿
六日午後十時頃火災を生じ折
柄の烈風と水利に乏しいの
で同町小學校附近の町家二
十六戸を
焼失し、午後十二
時近く鎮火した原因は同調
中であるが町内大倉炭礦專
用線踏切踏切小屋の焚火から
失火したもので約三萬
圓の損害と云はれてゐるが
火災地は

小野田坑 大落盤

二名即死し 四名は重傷

石城郡磐崎村の小野田炭礦
舞正に千九百三十一年で
はある此の春寒に風でも引
かなければよいが一體女
が選挙権を得やうとする目
的は何處にあるのかと云つ
たならば古い頭だ男女同權の
理由を知らないのか、偏男
下が疑はれてなませぬ

平の人事

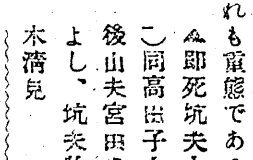
▲出生

平町宇田町三六鈴木郡三女
代子一月十四日午前五時
平町宇田町一三石川郡(石川
寄留)佐々木金太郎二男春海一月
十三日午前四時

今婦人に望む

平商學堂校長 吉田利吉

我が國內地に於ては女子
一〇〇に對して男子一〇
に當り朝鮮、臺灣、樺太に
於ては往々男子の數が多い
要之世界人口の約半分は
女子によつて占められて居
るにも拘らず今日迄の文化の
理由として女子は身体的精



病院に移して手當中だが何
れも重態である
▲即死坑夫上野幸次郎(三
二)同高田子之吉(四)重傷
後山夫宮田三、同本田
よし、坑夫物江新吉、鈴
木清見

平の人事

▲出生

平町宇田町三六鈴木郡三女
代子一月十四日午前五時
平町宇田町一三石川郡(石川
寄留)佐々木金太郎二男春海一月
十三日午前四時

今婦人に望む

平商學堂校長 吉田利吉

我が國內地に於ては女子
一〇〇に對して男子一〇
に當り朝鮮、臺灣、樺太に
於ては往々男子の數が多い
要之世界人口の約半分は
女子によつて占められて居
るにも拘らず今日迄の文化の
理由として女子は身体的精

昨夜の烈風と磯原町 廿六戸焼失の大火

火元は炭礦専用線踏切小屋 死傷者はないが損害三萬圓

石城郡地方と密接の關係あつても
茨城縣多賀郡磯原町に廿
六日午後十時頃火災を生じ折
柄の烈風と水利に乏しいの
で同町小學校附近の町家二
十六戸を
焼失し、午後十二
時近く鎮火した原因は同調
中であるが町内大倉炭礦專
用線踏切踏切小屋の焚火から
失火したもので約三萬
圓の損害と云はれてゐるが
火災地は

小野田坑 大落盤

二名即死し 四名は重傷

石城郡磐崎村の小野田炭礦
舞正に千九百三十一年で
はある此の春寒に風でも引
かなければよいが一體女
が選挙権を得やうとする目
的は何處にあるのかと云つ
たならば古い頭だ男女同權の
理由を知らないのか、偏男
下が疑はれてなませぬ

平の人事

▲出生

病院に移して手當中だが何
れも重態である
▲即死坑夫上野幸次郎(三
二)同高田子之吉(四)重傷
後山夫宮田三、同本田
よし、坑夫物江新吉、鈴
木清見

地方の沿革 (一)
R Y 生

明治維新前
上古に於ては同一血族の者が相集つて、一定の土地に住居し、大家族よりなる「戸」を以て組織された「氏」といふものが一種の町村の如きものを作つて居た、然るに孝徳天皇の大化の改新に唐の制度を輸入して地方制度に「五保」の制度を採用した五家を合せて一團としてこれを保として保長を置いた、五保は保内に各家連帯の責任を以て公に對して戸籍、徴税、犯罪の豫防発見等の義務を負担し内にあつては相互扶助の關係で結ばれてゐた

平安朝の中頃から地方の寺院、勢家は國家の支配外に立つ土地、人民を預有した彼の「莊園」が發達しその内部に於ては一種の自治が行はれたらしい

鎌倉時代から平安朝戦國時代にかけては國政の支配權を有する武士は兵馬控の關係深く民政を顧みる暇少く民間には自衛的に團結を作つて相互扶助をなすもの生じ、武士もまた之を利用して納税、犯罪人告發、逮捕等の義務を課し彼の「名主、庄屋」が置かれて上層下達の任に當りその下に團結して公共の義務を負担したのである、犯罪人の發生に方つては此階級座の俗稱「向ふ三軒兩隣」の起原もここにある

客街の良品廉賣
冬物入荷
伊関呉服店

驚異的の効果を有する婦人薬
座薬 美神丸
内服薬 美神湯
婦人病に悩む人々に一度は實驗を勧めむ

平町代理店 平町五丁目角 山野邊藥局

平市原醫院
平町
電話 四一一

外科 小児科 梅毒 淋病

よく出来たと云はれるまで
可憐に
これは早いと背かれるほど
迅速に
皆さんに満足されるほど
親切に
破格の勉強を致します

新 新 新
平町南 平町南 平町南
専属 磐磐 陽陽 陽陽
新聞 新聞 新聞
社 社 社



品位の本
親友の良友
愛する良品

御進物には商品切手

味噌醬油
正宗
鐘詰鯉節

山崎會社
合名

電話 釀造部 二七番
営業部 一〇番

サロン
平田町
電話 三五三

いつも生ビールがご用意
きれいな座席で氣もちよく
フランス料理の献立



親切と迅速をモットーとする
大野寫眞館
平町仲田町

寫眞の御用命は當館へ……



ふゆの通學服
斷然特賣の超尖端


小學生用長ズボン付	特製	95錢	ヨリ
	極上品	140錢	ヨリ
中學生用	特製	170錢	ヨリ
	極上品	250錢	ヨリ

買い良き店
5丁目
モリタヤ洋品店
電話 352番

ライト寫眞館
平町槌小路
電話 五三五番

外科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

高久病院
院長 醫學士 高久忠



高岡屋
金和 鉄洋
良品廉賣
高岡屋

平町五丁目
電話 九三九

召上りせま
安くて……
うまくて……
品がよい……

**カフェー
タヒラ食堂**

電話 二六〇番



諸毒下シの大妙薬
安流丸
平町五丁目
電話 二六〇番